



原料に高密度ポリエチレンを使用し、耐薬品性に優れたブロー成形容器です。

用途、作業性、保管場所などすべてのユーザーニーズにお応えするため、形状サイズ、容量など幅広いラインアップで最適な選択ができます。

- ISO9001を取得した工場での厳しい社内規格に合格した容器のみをご提供します。
- クリーン環境で自動化された製造を行うことで高い容器内品質を実現しました。
- 各種試験評価設備において、ご使用前の耐薬品性試験等の御要望にも対応できます。
- 13SL・16SL・20SL5は、改ざん防止キャップです。
- オプションでガス抜キャップもありますのでお問合せください。



ポリコンUN・SLかん ※価格は全てオープン価格です。

コードNo.	品名	容量	A (内径)	W	D	H	販売 単位	入数/ 梱包
UN13SL	ポリコン13SL	13ℓ	50	270	270	285	1個～	6
UN16SL	ポリコン16SL	16ℓ	50	270	270	320	1個～	4
UN20SL5	ポリコン20SL5	20ℓ	50	265	265	395	1個～	4
UN20SLU	ポリコン20SLU	20ℓ	50	275	240	423	1個～	4
UN30UN	ポリコン30UN	30ℓ	50	350	275	438	1個～	3

■ 通常在庫品 ■ 3～5日 ■ 7～10日
■ 材質/ポリエチレン(PE) ■ 製造国/日本

※寸法には許容差があります。(単位mm)

●UN規格商品とは!?

包装方法や梱包方法といった輸送用容器は、貨物の危険度合いによって3つの等級に分かれています。この等級はPacking Groupとも呼ばれ、容器の材質や種類を定めたものです。

国際輸送に際しては、輸送用容器に「UNマーク」の表示が必要です。「UNマーク」を取得するには危険物輸送用容器の検査が求められ、国土交通省地方運輸局または日本舶用品検定協会(登録検査機関)が実施することと法令で定められています。輸送用容器の表面に記す危険物の標札、標識は、図柄や形状、文字などまで国際的に統一されています。

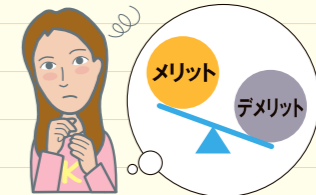
Q プラスチックの種類の見分け方は?

- A ●曲げてみると…
- 曲げると割れるもの：アクリル樹脂、AS樹脂、ポリスチレン
 - 曲げると白っぽくなるもの：硬質塩ビ、ABS樹脂
 - 曲げると柔らかくしなり、変色しないもの：硬質塩ビ、ポリプロピレン、ポリエチレン
- 透明度をよく見ると…
- 無色に近いもの：ポリスチレン、アクリル樹脂、ペット樹脂、AS樹脂、ポリカーボネート、塩ビ
 - 半透明、乳白色のもの：ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリアセタール
 - 不透明のもの：フェノール樹脂、ABS樹脂
- 水につけると…
- 浮くもの：ポリプロピレン、ポリエチレン
 - 沈むもの：ペット樹脂、硬質塩ビ、軟質塩ビ、ポリスチレン、ナイロン、ポリカーボネート



Q プラスチックの主な性質は?

- A 一般的に考えられるメリット…
- 簡単に着色できる。軽量。様々な形に加工できる。
 - 電気を通さない。衛生的。錆びない。割れにくい。薬品に強い。
- 一般的に考えられるデメリット…
- 傷が付きやすい。熱に弱い。表面が硬いとは言いがたい。アルコールに弱い。静電気を生じやすい。
 - ※種類によっては例外もあり、すべてのプラスチックにあてはまるものではありません。



Q プラスチックって、どのように作られているの?

- A 大まかな流れで言うと「原油」→「石油精製工場(石油化学コンビナート)」→「ナフサ」→「プラスチック原料」→「プラスチック加工」→「プラスチック製品」となります。石油精製工場に運び込まれた原油は熱せられ、比重や沸点の違いを利用してガソリンのほか灯油、軽油、重油、アスファルトといった各種の石油製品に分類されます。その中で、ナフサと呼ばれる物質がプラスチックの主な原料となります。比較的軽い物質の集まりで、ガソリンの原料でもあります。このナフサにさらに熱を加え、プラスチックの原料であるエチレン・プロピレンやベンゼンがつけられます。これらに硬さを調整したり、着色したりする添加剤を加え、プラスチック製品ができあがります。ちなみに原料について、原油の前には石炭が用いられていたようです。

